

第4回 小グループの運営、どうやっていくか

進行係 おーやん

アイスブレイク 呼ばれたい名前&「ミュートでしりとり」 15分

話し合いのグラドルール確認 3分

目標&今日の予定 2分

- 1) 同じ組織で活動する会員を小グループに組織するための効果的な方法を学びます。
- 2) 会員たちと仲良くなるための方法を考えます。
- 3) 1対1の対話が重要であることを認識し、練習します。
- 4) 小グループを運営していくための計画を立てます。

進行方法

- ① 第1段階 「人と仲良くなること」について考え、討論します。
- ② 第2段階 1対1の対話の重要性について皆で読んで、整理します。
- ③ 第3段階 1対1の対話のためのグループワークをします。
- ④ 第4段階 グループワークを通して考えたことをお互いに共有します。
- ⑤ 第5段階 小グループを組織するための計画を立てます。

プログラム

1, 人と仲良くなることとは？

ACW2の中で、私（自分）と仲良くしている人は誰でしょうか？

私（自分が）その人と仲良くしているのは、どのような理由でしょうか。

2, 皆と仲良くなるために必要なことはどのようなことでしょうか？話し合みましょう。

小グループを作るためにまずしなければならないことは、会員同士が仲良くなることです。人は自分と親しい人と会って話すことが好きです。仲のいい人同士だとグループはよりうまくいきます。したがって、小グループを成功させるためには、まず人々と仲良くなることです。

団体内で小グループを組織する過程はおおまかに4段階で分けることができます。

第1段階 団体の会員と仲良くなること

第2段階 1対1の対話を通じて要求を把握すること

第3段階 共通の要求を集めて小グループを作ること

第4段階 組織された小グループを管理して運営すること

- | | |
|--|-----|
| 1, 仲良くなる方法について考えよう | 30分 |
| ・仲良くなった体験 (15分) | |
| ・仲良くなれなかった体験 (15分) | |
| ・その理由など | |
| 2, 1対1の対話の重要性について皆で読んで、整理します。(別紙参照) | 15分 |
| 3, 興味があることについて話そう。 | 15分 |
| ・2人(3人)でグループになって、共通の興味があることを探す。 | |
| 個人的な対話を通して個人に対する理解を深めることは非常に大事なことです。 | |
| そのような対話を通し共通の興味を探し出し、小グループを組織する基盤を作っていくようにします。 | |
| 休憩 | 10分 |
| 4, グループワークを通して考えたことをお互いに共有しよう。 | 20分 |
| ・やりたい小グループについて | |
| ・興味のあることを話した感想 | |
| 5, 小グループを提案しよう。 | 30分 |
| ・小グループの必要性 | |
| ・小グループを作る時に障害となること | |
| ・誘った会員が否定的な場合はどうしたら良いか | |
| ・小グループでやってみたいこと | |
| 6, 小グループ立ち上げの計画を立てよう | 20分 |
| ・具体的に小グループを1つ選択する。 | |
| ・誰に声をかけるか | |
| ・第1回会合をプログラムする。 | |
| 7, 振り返り | 20分 |

<1対1の対話の重要性>

人々を集めて ACW2 に加入してもらうために、その人たちと 1対1 で会うことは何よりも大事です。親睦会や小グループは、だいたい組織で活発に活動している人による個人的な出会いから始まり、時間を経て小グループに発展していきます。

1対1 で会って話せば、

- ◆個々人に対しての理解を深めることができます。
- ◆会う人について、より深く理解でき、親密になることができます。
- ◆ACW2 中での不満や活動に対する考えを理解することができます。
- ◆ACW2 に対する人々の意見を一番正確に理解することができます。
- ◆1人ひとりが参加することが大事だということをうまく伝えられます。
- ◆会員 1人ひとりの可能性を見出すことができます。
- ◆大勢の人がいる場所で積極的に発言することができない人にも、自分の意思を示す機会を持つことができます。
- ◆相手にとって、「自分が尊重されている」と感じることができます。
- ◆個々人について把握ができるので 1人ひとりの可能性を伸ばすような機会を提供することができます。